

IAUD Newsletter vol.13 第4号(2020年7月号)

1. IAUD 国際デザイン賞創設 10年の歩み/IAUD 国際デザイン賞 2020 募集のご案内..... 1
2. 手作りマスク 900枚寄付した中学生のご紹介..... 9



持続可能な共生社会を目指す UD 活動を国際的に表彰

IAUD 国際デザイン賞創設 10年の歩み/IAUD 国際デザイン賞 2020 募集中



「IAUD 国際デザイン賞 2018」表彰式 受賞者による記念撮影(2019年3月、タイ・バンコク)

一人でも多くの方が快適で暮らしやすい UD 社会の実現に向けた革新的な取り組みを国際的に表彰する「IAUD 国際デザイン賞」事業は、2010年の創設から今年で10年目を迎えました。

毎年、個人的なプロジェクトから企業による大規模なプログラムまで、国内外より多くご応募いただき、回を重ねるごとに多様な分野での応募が増えております。

そして、この10年間で「IAUD 国際デザイン賞」事業の成功と UD への理解の高まりを実証するような、優れた活動や製品が受賞してきました。

今号の Newsletter では、「IAUD 国際デザイン賞」事業のこれまでの振り返りと今後の展望、さらに現在募集中の「IAUD 国際デザイン賞 2020」についてご案内します。



満員となった「IAUD 国際デザイン賞 2019」表彰式(2019年12月、東京・赤坂)

「IAUD アワード」から「IAUD 国際デザイン賞」へ

「IAUD 国際デザイン賞」事業は、2010年にUD社会の実現に向けた活動を表彰する「IAUD アワード」としてスタートしました。

下記の表は、初めて実施した「IAUD アワード 2010」から2019年の「IAUD 国際デザイン賞 2019」まで、9回の開催内容をまとめたものです。



「IAUD アワード 2010」表彰式
(2010年11月、静岡・浜松)

	応募数	受賞内訳	表彰式日時・会場	備考
IAUD アワード 2010	28 件	大賞 1 件 優秀賞 3 件	2010/11/1 第 3 回国際 UD 会議 2010 in はままつ@アクトシティ浜松	・隔年実施
IAUD アワード 2012	34 件	特別賞 1 件 大賞 1 件 金賞 5 件 銀賞 4 件	2012/10/14 第 4 回 国際 UD 会議 2012 in 福岡 @福岡国際会議場	
IAUD アワード 2013	38 件	大賞 1 件 金賞 6 件 銀賞 7 件 IAUD アワード 14 件	2013/11/21 設立 10 周年記念イベント @富士ゼロックス R&D スク エア	・毎年実施に変更 ・IAUD アワード新設
IAUD アワード 2014	44 件	大賞 3 件 金賞 6 件 銀賞 8 件 IAUD アワード 17 件	2014/11/11 第 5 回国際 UD 会議 2014 in 福島&東京 @東京国際交流館	・マーク使用規定
IAUD アワード 2015	49 件	大賞 3 件 金賞 6 件 銀賞 8 件 IAUD アワード 29 件	2016/3/17 第 6 回国際 UD 会議 2016in 名古屋プレイヴェント @名古屋学芸大学	
IAUD アワード 2016	59 件	大賞 2 件 金賞 7 件 銀賞 12 件 IAUD アワード 34 件	2016/12/9 第 6 回国際 UD 会議 2016 in 名古屋 @名古屋国際会議場	
IAUD アワード 2017	43 件	大賞 2 件 金賞 9 件 銀賞 14 件 IAUD アワード 14 件	2018/3/9 @オスカー・フォン・ミラー・フ ォーラム(ドイツ・ミュンヘン)	・特別推薦制度 ・応募説明会開催
IAUD 国際デザ イン賞 2018	22 件	大賞 1 件 金賞 11 件 銀賞 4 件 IAUD アワード 6 件	2019/3/4 第 7 回国際 UD 会議 2019 in バンコク @モンクット王工科大学ラー トクラバン校(タイ・バンコク)	・名称変更 ・特別推薦制度 ・応募説明会開催
IAUD 国際デザ イン賞 2019	39 件	大賞 3 件 金賞 10 件 銀賞 8 件 銅賞 14 件	2019/12/18 @東京 インターナショナル・ デザイン・リエゾンセンター	

審査委員会は世界 6 か国の UD 専門家

IAUD 国際デザイン賞審査委員会は、英国、米国、ドイツ、ノルウェー、スペイン、日本の 6 か国から 9 名の UD 専門家で構成されており、UD 理念の提示や具体的なアイデアの提案、活動の実践等を踏まえ、国際的な視野から審査します。

受賞した取り組みは国際的に評価されていることが認識され、また受賞しなかった取り組みも、審査委員会より講評を受けることができます。

審査委員長: ロジャー・コールマン(英国王立芸術大学院名誉教授)

副委員長: 益田文和(株式会社オープンハウス代表取締役/名古屋学芸大学客員教授)

委員: フランセスク・アラガイ(スペイン デザインフォーオール財団代表)

同: トーマス・バーデ(ドイツ IUD ユニヴァーサルデザイン研究所 CEO)

同: オンニ・エイクハウグ(EIDD デザインフォーオール・ヨーロッパ会長)

同: ヴアレリー・フレッチャー(米国人間中心デザイン研究所所長)

同: ラーマ・ギーラオ(英国王立芸術大学院ヘレンハムリンセンター所長)

同: 荒井利春(金沢美術工芸大学名誉教授)

同: 川原啓嗣(名古屋学芸大学大学院メディア造形研究科教授/同大学メディア造形学部デザイン学科教授/IAUD 専務理事)



IAUD 国際デザイン賞審査委員会。左上からコールマン委員長、益田副委員長、アラガイ委員、バーデ委員。
左下からエイクハウグ委員、フレッチャー委員、ギーラオ委員、荒井委員、川原委員。

革新的な UD 活動を国際的に表彰

全ての応募は、次頁にある 6 つの「審査基準」に合致しているか綿密に審査され、5 つの「本質的目標」の実現を目指した革新的な活動や提案を高く評価します。

コールマン審査委員長は、「IAUD 国際デザイン賞は、使いやすさや社会的・環境的持続可能性、包括性、知識移転という UD の重要な特質を満たすか、その実現に向け鋭意努力しているすべての応募に授与されます。賞の授与を通じて、質の高い UD の実践やその方法、成



「IAUD アワード 2012」表彰式に臨席する審査委員会(2012 年 10 月、福岡)

果を称賛し、推進することを目指しています」としています。

また、期待する応募に関しては、「斬新でUDの新境地を開く、革新的で人間中心デザインの取り組みを称えます。特に、UDの基礎要件である、デザインプロセスへのユーザー参加と対話の存在を明確に示すことを求めます」と述べています。

6つの審査基準

1. 斬新で躍動的な、UDの新境地を開くものであること
2. 市場から排除されがちな障害者等との密接な関係を基にした質の高いユーザー中心の研究が認められること
3. 特定のユーザーグループが技術革新から取り残されないよう配慮されていること
4. 多様なユーザーグループに属する特殊な問題を捉え解決策を提供するなど、従来の「ユーザビリティ」を超える提案であること
5. 企業の全社的なビジョンと継続的な改善計画に基づいたUDへの長期的組織的実践が示されていること
6. 誠実で説得力のある説明資料に裏付けされていること



「IAUD アワード 2015」表彰式後の懇談会(2016年3月、愛知・日進)

5つの本質的な目標

1. **サステナブルとユニヴァーサル**: 持続可能な共生社会創造のための理念と実践。
2. **多様性と包摂性**: 伝統、文化、生活様式、そして人間の多様性を理解し、少数を排除せず、積極的に包含することで、質的に豊かで幸福な暮らしを実現する。
3. **安全・安心な社会**: 人権を守り、人間性を尊重した社会の仕組み、制度、モラルの構築。
4. **自発的、かつ持続的な対話**: 企業・行政・研究機構・NPO、そして生活者間の交流、および関係の構築。
5. **世代を超えた知恵と技の継承**: UDの普及啓発により、次世代を担う人材を育成する。

広報活動に有効な IAUD 国際デザイン賞マーク

すべての受賞者は「IAUD 国際デザイン賞マーク」の使用が認められ、UDの普及啓発や広報活動などに活用していただいております。

「大賞」「金賞」「銀賞」「銅賞」の各マークは、受賞発表後1か月のPR期間中は無償で使用可能です。

期間終了後は規定の使用料金をお支払いのうえ、引き続き広報活動等にご使用いただけます。

受賞後5年目以降の使用料は50%減額、10年目以降の使用料は無料となっています。受賞者が学校法人、医療法人、宗教法人、財団・社団法人、NPO法人などの公共機関や団体である場合は、マーク使用料は無料、受賞者が個人または中小企業である場合には、使用料は50%減額となっています。

また、災害復興を支援する減免措置として、東北4県(青森、岩手、宮城、福島)の企業が災害復興等に関わる受賞対象においては、マーク使用料を50%減額しています。



IAUD 国際デザイン賞 2019
大賞マーク

2010年から2019年の大賞受賞17件

過去10年間に大賞を受賞した17件をご紹介します。いずれも、共生社会の実現を推進し、UDの新境地を開く革新的な取り組みとなっています。

※タイトルをクリックすると受賞内容の詳細を掲載したIAUD Newsletterにリンクします。



「フィリピン国内の地方における障害者のためのバリアフリー環境形成プロジェクト」JICA／フィリピン国家障害者協議会

公共施設の修復を通じた「物理的アクセス」と、障害者のエンパワメントを通じた「社会的アクセス」の改善を目指すプロジェクト。



「納得工房体験型研修とSH-UD マスタープランナー制度によるUD啓発活動」

積水ハウス(株)

住まいのUDについて住み手・作り手が同じ立場で考え、気づきを促す場「納得工房」と、UDを実践・推進する「SH-UD マスタープランナー」育成研修。



「Honda 新型軽乗用 N-BOX+車イス仕様」

本田技研工業(株)／(株)本田技術研究所

重量物や自転車、車椅子等の積載性を向上させ、ウインチやアルミスロープを内蔵することで様々なユーザーの幅広い使い勝手の要求に答えるUDを実現。

あたらしい日本ののりもの。



「イオングループの施設づくりUDの取り組み」

イオンリテール(株)

UDを取り入れた小売り施設を創出してアクセシビリティを改善し、あらゆる年齢と能力の顧客のショッピング体験を向上。

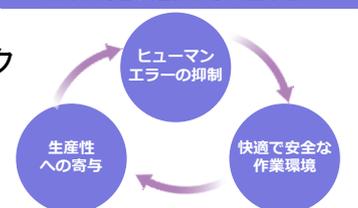


「UD視点による現場作業性改善」

三菱電機株式会社

UDのアプローチを職場と職務のデザインに採用して生産タスクを実行・理解しやすくすることで、労働者への不合理な負荷を軽減し、高齢者の雇用が可能に。

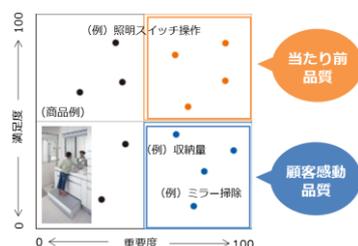
労働環境を最適化する風土の醸成



「UD 定量評価手法の開発および社内認定評価制度の構築」

パナソニック(株)

あらゆる年齢と能力のユーザーの生活の質を高めるために、製品開発から販促活動まで「検証」「数値化」「評価」「プロモーション」が統合されたUDのプロセス。



「西葛西・井上眼科病院における人間の感覚に基づいた安全・安心の新たな UD の取り組みと実践」 済安堂／鹿島建設(株)



独自の UD 調査グループによる「五感に基づく UD」総合計画を実施し、ユーザーとの話し合い、協力、検証、評価の反復的プロセスで、歩きやすく安全で快適に利用できる病院施設を実現。



「Universal Design Education and Development」



DJ Academy of Design(インド)

デザイン関係者や業界、公共セクターへの働きかけや UD 政策の策定、研究センター建設など UD 教育に全面的に取り組むデザイン専門学校。

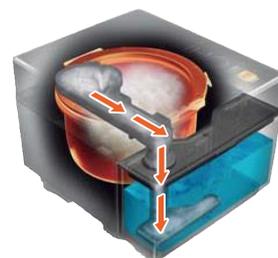


「らく楽アシスト ～あん心してらくに楽しく使える製品開発の取り組み～」



三菱電機(株)

安全に使える、簡単に使える、楽しく使える、という3つの理念に基づき、できるだけ多くの人に簡単に楽しく使ってもらえる製品開発を目標とした取り組み。



「Fujitsu GUI Next Plus (FGNP)～誰もが公平にソフトウェアを使う社会に向けた新しい GUI デザイン基盤～」 富士通(株)



UD 精神に則った整合性を最優先し、デバイスやソフトウェア・プログラムの基本要素、プレゼンテーション、インタラクションを標準化した、新しい GUI。



「多目的ホールと 24 室の新空間で多様性に新たな基準を設ける『ムスホルム・ホリデー・スポーツ・コンファレンス・センター』」



デンマーク筋ジストロフィー財団(デンマーク)

参加型デザインプロセスを取り入れ、高いレクリエーション機能とプライベートスペースを組み合わせ、筋ジストロフィー患者が家族や友人、一般の人々と一緒に楽しめる豊かでくつろいだ体験を提供。



「パナソニックの UD コミュニケーション」



パナソニック(株)

UD の発展と推進において同社が国内外で果たしている主導的役割を、一貫性のある、アクセシビリティの高いコミュニケーションプラットフォームの形で説明。





「みんなにトイレをプロジェクト」

(株)LIXIL

開発途上国向けに革新的な低価格トイレソリューションを開発し、世界中で販売。さらに現地パートナーと協力し、製造・流通・販売・修理を分散して、現地に雇用を創出。



「災害対策本部から住民まで一貫したユニバーサルな総合防災ソリューション」

富士通(株)／富士通デザイン(株)

ICT の力で災害に強い社会と街づくりの実現を目指す、情報の収集から伝達まで一貫通貫のシステム。世界中の災害多発地域で応用可能。



「Vision of The Fjords」

The Fjords DA(ノルウェー)

革新的な傾斜路のデザインを導入し、障害者も健常者も分け隔てなく受け入れる、ユニークな体験を提供する観光船。ハイブリッド推進システムで環境にも優しい。



「SoundUD 推進コンソーシアム」

ヤマハ(株)

SoundUD 技術を活用した製品・サービスの開発・普及に官民約 300 の組織が協力して取り組むことで、言語や聴力への不安がない社会づくりを推進。



「音をからだで感じるユーザインタフェース“オンテナ”」

富士通(株)／富士通デザイン(株)

髪の毛や耳たぶ、襟元や袖口などに身に付け、振動と光によって音の特徴をからだで感じる新しいユーザインタフェース。



より自由で革新的な思考が必要

コールマン審査委員長はこの 10 年を振り返り、「毎回、応募に示される工夫や問題意識、UD 社会を実現するための取り組みに感銘を受け、励まされています。特に、日本企業の応募は、ユーザー中心のインクルーシブデザインの鍵となる概念や方法論に踏み込んで体得していることを立証しており、現在、UD が日本の企業に深く根付いているという事実は、当事業がとても効果的であったことを証明しています」と講評しています。

これまでの受賞については、「UD を理解し、共生社会への実現を進撃に目指している革新的なプロジェクトや製品、サーヴィ



「IAUD アワード 2018」表彰式で講評するコールマン審査委員長 (2019 年 3 月、タイ・バンコク)

スが受賞しています。多くの受賞した取り組みで証明されているように、UD が将来の重要なビジネスモデルとして、新しい革新的なコンセプトを提供できる可能性を秘めていることがわかります」と述べています。

さらに、「IAUD 国際デザイン賞」事業の今後の展望として、「私たち全ての未来には、最高の研究と教育に支えられた若い才能が加わってくることが不可欠です。若い世代にとって、ユーザーフレンドリーなインクルーシヴデザインが着実に進歩するために、これまでの考え方にとられない自由で革新的な思考が必要になります。そのため、今後は特に、デザイン学校と学生、イノベーションハブや研究プログラムの高度な知識と実施例など、以前には過小評価されていた分野から多くの国際的な参加を奨励する方法を模索しています」としています。

「IAUD 国際デザイン賞 2020」7 月末まで募集中！



IAUD は、「IAUD 国際デザイン賞 2020」の募集を開始しました。今回も、革新的な UD 活動や提案を応援しますので、皆様の応募をお待ちしております。第 1 次審査応募締め切りを 7 月 31 日(金)まで延長しました。「IAUD 国際デザイン賞 2020」の詳細は[こちら](#)をご覧ください



中学生が手作りマスク 900 枚寄付 中学生が手作りマスク 900 枚寄付

新型コロナウイルス感染拡大でマスク不足の深刻な状況を危惧した山梨県の中学 2 年生滝本妃(ひめ)さんは約 900 枚のマスクを手作りし、3 月と 4 月に山梨県庁や山梨大学に寄付しました。

寄付されたマスクは高齢者やこどもの施設、医療関係者に届けられ、大変喜ばれました。

さらに、多くの方にマスクを手作りしてもらうため、布やゴムひも、型紙と手書きの製作手順がセットになったキット 1104 個を、5 月に山梨県教育委員会に寄付しました。

IAUD は、滝本さんの素晴らしい行動力と優しさを多くの方に知っていただきたく、ホームページに滝本さんの活動と滝本さん手書きのマスクの作り方を紹介しております。

詳細は[こちら](#)をご覧ください。



山梨大学学長表彰を受け取る滝本さん(写真左)と島田学長(山梨大学提供)

※新型コロナウイルス対策のため不要不急の外出の自粛が推奨されていることを受け、IAUD では研究部会等の行事開催を一部見合わせております。

次号は 8 月上旬発行予定

特集:IAUD 国際デザイン賞 2019 受賞紹介⑥ほか

一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会
事務局: 〒225-0003 横浜市青葉区新石川 2-13-18-110
電話:045-901-8420 FAX:045-901-8417 e-mail:info@iaud.net